

男女共同参画スタディーズ2020



SDGs (エスディー・ジーズ) とは、国連が定めた世界の「持続可能な開発目標」で、その中にある5番目の目標が、「ジェンダー平等を実現しよう」です。

2019年12月に発表されたジェンダー・ギャップ指数で、日本は過去最低の121位(153か国中)となり先進国の中でも最低レベルになっています。世界の流れから遅れていることを指摘されている日本。政治や経済分野をはじめ、性別に関わらず活躍できる環境を作ることも不可欠です。でも、私たちの生活にどう関わりがあるのでしょうか。身のまわりを振り返り、これからの私たちがめざす男女共同参画社会とジェンダーの平等について考えてみませんか。

<p>【いずれも10~12時】</p> <p>① 6月6日(土)</p>	<p>「ジェンダー平等が、SDGsを前進させる」</p> <p>三輪敦子さん 一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター 所長</p>
<p>② 6月20日(土)</p>	<p>「進まない男性の家事育児」</p> <p>筒井淳也さん 立命館大学 産業社会学部 教授</p>
<p>③ 7月4日(土)</p>	<p>「この表現何が問題？」～男女共同参画の視点に立って考える～</p> <p>波多江みゆきさん NPO法人あなたらしくをサポート(らしーく) 副代表理事</p>
<p>④ 7月18日(土)</p>	<p>「私たちがめざす男女共同参画社会」</p> <p>田上時子さん NPO法人女性と子どものエンパワメント関西 理事長</p>

- ◇ 日時：6月6日、20日、7月4日、18日の土曜日、各10~12時 [4回講座]
 - ◇ 対象：テーマに関心のある方 40人 <先着順>
 - ◇ 保育：10人(1歳~就学前まで) 無料 要予約
 - ◇ 申込み：電話(0797-86-4006)または窓口で受付
- ** センターのHPからも申込みが出来ます **

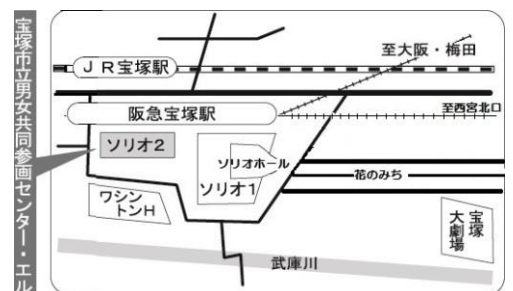


★ 男女共同参画週間 ★ 6月23日~29日 ★

主催 宝塚市立男女共同参画センター・エル
宝塚市指定管理者
NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西
宝塚市栄町2-1-2「ソリオ2」4階
電話：0797-86-4006 FAX：0797-83-2424
<https://www.takarazuka-ell.jp/>

(駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください)

Facebook ページ



『男女共同参画スタディーズ2020』 ☆ 講師紹介 ☆

	<p>① みわ あつこ 三輪 敦子さん 一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター（ヒューライツ大阪）所長</p> <p>日本赤十字社外事部（現国際部）、国連女性開発基金（現UN Women）アジア太平洋地域バンコク事務所、（公財）世界人権問題研究センターにおいて、ジェンダー、開発、人道支援、人権分野の様々なプログラムの実施支援や調査・研究に携わってきた。2017年より現職。国連ウィメン日本協会副理事長。2019 C20 共同議長。（一社）SDGs 市民社会ネットワーク共同代表理事。</p>
	<p>② つつい じゅんや 筒井 淳也さん 立命館大学 産業社会学部 教授</p> <p>一橋大学社会学部卒業、同大学院社会学研究科博士課程単位取得満期退学。主な研究分野は家族社会学、ワーク・ライフ・バランス、計量社会学など。著書に『結婚と家族のこれから 共働き社会の限界』（光文社新書）、『仕事と家族 日本はなぜ働きづらく、産みにくいのか』（中公新書）などがある。</p>
	<p>③ は た え 波多江 みゆきさん NPO 法人あなたらしくをサポート（らしく） 副代表理事</p> <p>同志社大学文学部心理学専攻卒業。メーカーで社内報編集や人事教育を担当した後、コミュニティー新聞やミニコミ誌編集に関わりフリーのライターへ。また、コミュニケーションアドバイザーとして、自尊感情を軸にした研修等を担当。これまでに、伊丹市男女共同参画政策懇話会委員、伊丹市男女共同参画施策市民オンブード、伊丹市社会教育委員、伊丹市公民館事業推進委員などを務める。</p>
	<p>④ た が み と き こ 田上 時子さん NPO 法人女性と子どものエンパワメント関西 理事長</p> <p>早稲田大学卒業後、カナダ留学。1988年9月に帰国。子どもの力を信じ、幼児期から思春期にいたるまであらゆる子どもの問題に取り組み、子どもと親をサポートする活動を精力的に行っている。2011年文部科学大臣より「社会教育功労賞」受賞。JICA 人身取引被害者支援・自立支援促進プロジェクト短期専門家。著書に『子どもとのコミュニケーションスキル』、『親と子どもの感情 BOOK』、翻訳絵本『わたしのからだよ!』（2017年11月復刊）など多数。</p>

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



『SDGs』

2015年9月に国連で採択された決議「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中に掲げられた世界目標。2030年までの達成をめざす17の目標と、それらをより具体的に示す169のターゲットから成る。



『ジェンダーギャップ指数』

世界各国の男女平等の度合いを指数化した世界経済フォーラム(WEF)発表の「ジェンダー・ギャップ指数2019」で、日本は153か国中121位となった。経済参画・教育・政治参画・健康の4つの分野14項目のデータから、男女格差の少なさを指数化し、その平均で総合順位が決められている。



- 1位 アイスランド
- 2位 ノルウェー
- 3位 フィンランド
- 4位 スウェーデン
- 5位 ニカラグア
- 6位 ニューージーランド
- 7位 アイルランド
- 8位 スペイン
- 9位 ルワンダ
- 10位 ドイツ

★121位 日本★